
want be you

塩さん。

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

w a n t b e y o u

【Nコード】

N 2 1 7 3 Z

【作者名】

塩さん。

【あらすじ】

誰も知らない。

彼らのホントウのスガタを。

いや、彼ら自身も気づいていない。

ただ、それに気づいたとき。。。

花は知っている。その全てを。・。:

俺のいいところ。

いつかお前が言ってくれた。

笑顔が人一倍輝いてる。

ただ、お前は気づいてしまったんだろう？

俺の笑顔の真実を。

俺も気づいてしまったよ。

笑顔の真実を。

桜の花びらがひらひらと舞う頃。

「あゆとーっ！はやく行けっせー」
「おっ！」

そう言つて威勢よく家を出た。

その少年の名は

はやかわ

早川 亜優都。

あゆと

中学1年生。

まだ、学ランに着られているようにしか見えない。
つい最近までランドセルを背負っていたのだから。

そのあゆとを誘つたのは幼馴染の

わか

和賀 星太。

せいた

あゆとの近所に住んでいて、幼いころから何をするにも一緒だった。

今日はそんな二人の新たなスタートの日。
入学式の日だ。

「やっと終わったよ。。。」

「あの校長話長いわ。。。」

なんて長い式を終えて二人は少しませた会話。

新しい制服。

新しい鞆。

新しい教室。

顔見知りではない生徒たち。

全てが彼らを大人に魅せようとしていた。

「にしても。。みんな賢そう。。。」

「何言つてんだよあゆと！今更戻れねえよ？」

不安そうな亜優都にいたずらっぽく笑ってみせる星太。

彼らが手にする鞆には

私立宇銀鷹高等学校附属中学校

の文字。

そう、二人が通うのは日本でも指折りの名門エリート学校。高校へはエスカレーター式である。

今日から6年間、この学校で2人は青春を過ごしてゆく。

4

「やっぱり俺が受かったの間違いじゃ。。。」

その後ろへさがる亜優都の腕をつかんで星太は言う。

「ばーか！早くいくぞ！」

散ってゆく花びらは語る。

その笑顔が、無邪気な笑顔が。

いつしか”アイツ”に支配されることを。

そして互いの本音の発露がいつかいつかある日まで。

花は知っている。その全てを・・・。

「じゃあ、明日からさっそく授業が始まりますので・・・」
教室での担任による話が終わろうとするころ。

亜優都は、ひとりの生徒に熱い視線を送っていた。

少し明るめの髪。

大きな瞳。

そのすつとした顔立ちは星太に似ている。

その生徒の名は
黒相 隼人くろそう じゆんじん

きつとモテるんだろうなあ・・・

先生の話なんて耳には入らずに隼人をじっと見る亜優都。

・・・。

「おいっ！おいっ！」

「あつ、え！？ああどうしたの？」

星太の声で現実へと引き戻される。

「どうしたの、じゃねえよ。もう先生の話終わってるし。」

そう苦笑される。

「どうしたんだよ?」

「いやあ、あの子。黒相くん? だっけ。なんかモテるんだろ? うなあ
って思ってる。どことなく顔は星太に似てるよね。」

「そう? まあ、モテそうだよな。」

そう話していると、2人の視線に気がついたのか隼人がこちらへと
歩み寄ってきた。

「俺、黒相 隼人っての。よろしくね!」

さわやかな笑顔。

2人は確信。

((絶対モテモテだ。))

2人も同じような自己紹介をしたあとにしばらく新入生らしい会話を
をした。

「そういやさ、星太と隼人って似てない! ?」

「そうかなあ。 . . .」

星太と隼人が声をそろえる。

「まあどつちもイケメンなんだよ。」
そう笑うと

「んなことねえよ。」
「
ってまた声をそろえていった。」

「じゃ、また明日ね!」

そう言って、隼人は2番ホームへ。
星太と亜優都は4番ホームへと別れた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2173z/>

want be you

2011年12月10日01時04分発行